

アクアシード プラスワン測定試験

株式会社プレミカ

担当：林健一

実験実施日：2015/12/08

【目的】

水素還元ボールと pH 調整ペレットを併用時、経過時間に対する酸化還元電位、溶存水素量について変化を調査する。

【試料】

- ・水素還元ボール 12g
- ・pH 調整ペレット 1粒
- ・プラチナセラミックス 1g
- ・シリカセラミックスボール 1g
- ・500mL 都営水道水

【測定機器】

- ・溶存水素濃度 溶存水素KM2100DH/溶存水素電極KH-10 (有)共栄電子研究所製
- ・pH (水素イオン濃度) pH METER HPH-130 東亜ディーケーケー(株)製
- ・ORP (酸化還元電位) ORP METER RM-12P 東亜ディーケーケー(株)製
- ・電気伝導率 CONDUCTIVITY METER DS-15 (株)堀場製作所製

【測定方法】

水素還元ボールと、各セラミックスをペットボトルに入れて都営水道水を 500mL 注ぎ込み、原水の水質測定実施後、蓋をして密封させたのち所定の時間で測定試験を行った。

【測定結果】

表 1) 水質測定結果

	pH	ORP	電気伝導率	溶存水素[ppb]
原水	6.83	480	18.6	0
1h	7.12	-22	24.5	289
3h	7.45	-75	29.2	324
6h	8.11	-383	34.8	946
24h	8.36	-600	27.5	1600